北海商科大学　講義概要（シラバス）

2026年度

科目名	観光研究ゼミナールIV	科目コード	1236	単位数	2
担当者名	池ノ上　真一	開講セメスター	第7セメスター	開講年次	4年次
授業の方法	演習	到達目標	F,H	実務経験	無
ナンバリング	LSe704	※DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

授業のねらい

地域遺産は、住んでよし、訪れてよしの観光まちづくりにとって重要な役割を担っています。
3年次に取り組んだプロジェクト学修の成果を活かし、具体的で社会的意義のあるプロジェクトに取り組むと共に、ステークホルダー（関係者）へのプレゼンテーションや報告書の提示等の成果の見える化、さらには卒業論文等の論文執筆により社会還元を行います。プロジェクトはテーマ別にグループ活動とし、地域に関する応用力を養うと共に、デザイン思考の創造性とチーム活動に必要な力を養うことを目指します。また、成果の見える化により自らの研究テーマの探求や論理的文章の書き方を理解することを期待します。

到達目標

(1)北海道内の具体の地域の現状把握、および具体的な課題をロジカルに抽出することができます。
(2)地域社会とのコミュニケーションをとおしたプロジェクトマネジメントに関する計画策定・実行・振り返り・見直し・コミュニケーション等の力を高めることができます。
(3)世界における北海道遺産の現状と課題を構造的に理解し、解決するための方策を考えることができます。

授業内容

1週目 オリエンテーション－授業の趣旨、実施方法、研究計画－
2週目 研究計画の検討：事前調査と計画策定
3週目 計画策定エスキス　その1
4週目 計画策定エスキス　その2
5週目 調査・実証等の経過報告と相談　その1
6週目 調査・実証等の経過報告と相談　その2
7週目 調査・実証等の経過報告と相談　その3
8週目 調査成果の分析と相談　その1
9週目 調査成果の分析と相談　その2
10週目 調査成果の分析と相談　その3
11週目 論文等作成　その1
12週目 論文等作成　その2
13週目 論文等作成　その3
14週目 論文等作成　その4
15週目 最終発表会とディスカッション
16週目 授業で作成したレポートに関わる全体的な講評、ポイントの整理を行います。但し、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施できなかった場合は、補講授業を行います。

準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

・（予習）授業では報告相談を行います。そのため、事前に計画策定・調査・分析・レジュメ作成・論文作成等を実施してください。（180分以上）
・（復習）授業後には、次のアクションのために報告相談により得られた成果内容を整理してください。（180分以上）

成績評価の方法・基準

・成績はレジュメ・報告相談、論文の内容から習熟度を把握し評価します。

履修上の留意点

・当該授業は、卒業論文執筆を中心にグループディスカッション型で研究の計画策定・調査や実証成果の報告相談を行います。したがって、遅刻することなく出席することが必須条件です。また、無断欠席等で注意を受け改善しない者は、不合格となることがあります。
・また当該授業は、自主的で創造的な学びが大変重要となります。活動のアイデアはもちろんのこと、各種技法や基礎知識については、各自が日常的、積極的な学びを期待します。また教員はアドバイザーという立ち位置で関わります。十分に活用できるように円滑なコミュニケーションに努めて下さい。
・皆さんの現場力や実践力を高めるためにフィールドワークとして実際に地域に出かけます。それに係る交通費等の費用は原則、自己負担となります。
・学内無線 LAN（Wi-Fi）を活用し、授業時間はもちろんのこと、それ以外の時間も有効に使い学修効果を上げるための活動を積極的に行ってください。

課題に対するフィードバックの方法

・エスキスと発表を中心にして、教員から学生へのフィードバックを行います。

テキスト

・必要に応じてオリジナルの教材(プリント)を配布します。また、LMS上にオリジナルの資料を適宜公開します。

参考書

・臼井冬彦・株式会社富士通総研『「観光」を切り口としたまちおこし 地域ビジネスの進め方』（日刊建設工業新聞社）2,400円＋税

更新日付

2026/01/30 02:12